

令和3年度



神谷だより

< 6月号 >

令和3年6月1日
北区立神谷小学校
校長 星野 典子

教育目標：すこやか・まなび・おもいやり

「うめういす」って!?

校長 星野 典子

先日、3年生の授業を観に行ったとき、先生が「昨日は、うめういすの学習をしましたね。」と子供たちに話していました。「うめういす?」と思って観ていると、どうやら話の聞き方のことのようにです。国語の「もっと知りたい 友だちのこと」の学習で、NHK for School の番組でやっていた「うめういす」を取り上げていたのだそうです。「うめういす」は話の聞き方の基本で、「う」は「うなずいて」、「め」は「目を見て」、「う」は「ラストまで」、「い」は「いっしょうけんめい」、「す」は「スマイルで」だそうです。なるほど、話を聞くときに大事なことを子供たちにも分かりやすく表している言葉なのだと分かりました。子供たちも納得した様子で聞いていました。



人の話を聞くときは、相手に「きちんと聞いていますよ。そうですね。分かりますよ。」ということが伝わるように聞くことが大切です。「聞くこと」はコミュニケーションの第一歩と言われるように、コミュニケーションにおいて「上手に話すこと」以上に「上手に聞くこと」が大切だと言われます。相手が真剣に聞いてくれて受け止めてくれていると感じることで、話し手は安心して、自分の思いや考えを伝えることができます。コミュニケーションの基本は「人の気持ちを考えること、共感すること」です。相手の気持ちが分かる共感性や、人とうまくやっていくための協調性は、自分の気持ちを受け止めてもらう経験から生まれます。



話は少しそれますが、昨年秋、(株)帝国データバンキングが発表したデータによると、企業が求める人材のランキング1位は「意欲がある人」、2位が「コミュニケーション能力がある人」だったそうです。100人以上の大規模企業の場合は「コミュニケーション能力」が第1位だったそうです。どんなにITが発展してAIに置き換わる仕事が増えてきても、人と人が関わっていく以上、コミュニケーション能力は不可欠なものだと言えます。

これからの社会で求められているコミュニケーション能力を培う上でも、日頃から「うめういす」を心がけて話を聞いたり、自分の思いや考えを相手に受け止めてもらえたりという経験を積んでいくことが大切です。私たち大人は、子供たちに話を聞く大切さを伝えるとともに、自分自身も忙しさにかまわず、子供の話を「うなずきながら、目を見て、ラストまで、一生懸命、スマイルで」に心がけて、真剣に聞く姿勢をもつことが大切です。

5月31日までの予定だった緊急事態宣言が6月20日まで延長されました。水泳指導をはじめ、学習活動でも更に予定変更が増えることとなります。変更については、その都度お知らせさせていただきますので、引き続き皆様のご理解ご協力をお願い致します。

1年生 慣れてきた学校生活

入学から2ヶ月ほど経ち、子供たちは学校生活にだいぶ慣れてきました。朝の支度や給食当番など、4月と比べてとても上手にできるようになってきています。5月に入ってから、掃除や係活動が始まりました。できることが少しずつ増えていくことに喜びを感じ、進んで自分の仕事を行っている姿には頼もしさを感じます。また、4月末に配布した学習用PCを少しずつ学習に取り入れています。生活科の時間では、あさがおの観察をする際に、学習用PCのカメラ機能を使って記録し、気付いたことを記入しています。国語や算数の時間では、担任からPC上で配布した算数や国語の問題に取り組み、既習事項の復習を行っています。今後も様々な場面で学習用PCを使っていきたいと思えます。ご家庭での管理等お手数おかけいたしますが、今後ご協力よろしくお願ひいたします。



2年生 めざせ 野さい作り名人

生活科「めざせ 野さい作り名人」の学習で、ミニトマトとサツマイモを育てています。ミニトマトの苗を初めて見た時には、「トマトが付いてないね。」と不思議そうに観察をしていました。葉や茎の様子を、学習用PCのカメラ機能等を使いながら、記録に残しています。水やりをしている時には、「おいしくなってね」と気持ちを込めている姿に、心が温かくなりました。優しい気持ちのこもったおいしいミニトマトができるといいですね。サツマイモの苗を見た時には、ミニトマトの時よりも驚きながら、「どこにサツマイモができるの？葉っぱしかないよ。」と植物の不思議に興味関心を高めていました。サツマイモを植えるときに名前をつけて、大きくて、おいしいサツマイモになるようにお祈りをしていました。学級ごとにお世話をしているので、収穫の時期を楽しみに、2年生のサツマイモ畑を成功させたいと思います。



